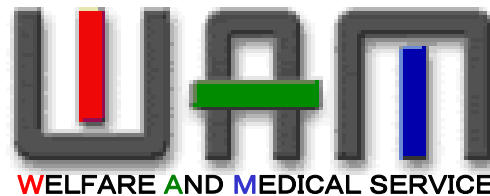


平成23事業年度 勘定別財務諸表の概要

独立行政法人福祉医療機構



1. 一般勘定			4. 年金担保貸付勘定		
(1) 資産の状況	2	(1) 資産の状況	8
(2) 損益の状況	3	(2) 損益の状況	9
2. 共済勘定			5. 労災年金担保貸付勘定		
(1) 資産の状況	4	(1) 資産の状況	10
(2) 損益の状況	5	(2) 損益の状況	11
3. 保険勘定			6. 承継債権管理回収勘定		
(1) 資産の状況	6	(1) 資産の状況	12
(2) 損益の状況	7	(2) 損益の状況	13

1 - (1) 一般勘定（資産の状況）

■資産の部3,094,035百万円のうち、貸付金（1年以内回収予定長期貸付金、長期貸付金等）は3,072,208百万円であり全体の99.3%を占めています。貸付金は前年度末と比べて43,170百万円の増となっています。

■負債の部3,078,037百万円のうち、借入金は2,838,506百万円、福祉医療機構債券は227,000百万円であり、貸付原資が全体の99.6%を占めています。なお、預り補助金等1,024百万円は翌年度に国庫に返還する予定です。

■純資産の部は、財務基盤強化のための政府出資金（14,200百万円）の受入れに伴う資本金の増加及び東日本大震災からの復旧に係る貸付について優遇措置を行ったこと等に伴う繰越欠損金（△1,767百万円）の発生等により15,997百万円となっています。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	3,094,035	3,043,664	50,371
I 流動資産	273,808	263,145	10,663
現金及び預金	2,458	8,455	△ 5,997
買現先勘定	6,896	-	6,896
有価証券	14,210	4,680	9,530
1年以内回収予定長期貸付金	242,125	240,810	1,315
貸倒引当金	△ 221	△ 88	△ 133
その他	8,338	9,288	△ 950
	3,072,208		
II 固定資産	2,820,227	2,780,519	39,708
有形固定資産	1,956	2,545	△ 589
無形固定資産	374	549	△ 175
長期貸付金等	2,830,082	2,788,227	41,855
貸倒引当金	△ 12,898	△ 11,523	△ 1,375
その他	713	720	△ 7

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	3,078,037	3,036,981	41,056
I 流動負債	279,294	280,646	△ 1,352
運営費交付金債務	664	547	117
預り補助金等	1,024	25	999
1年以内返済予定長期借入金	267,208	269,554	△ 2,346
その他	10,396	10,519	△ 123
	2,838,506		
II 固定負債	2,798,743	2,756,334	42,409
福祉医療機構債券	227,000	194,000	33,000
長期借入金	2,571,297	2,561,751	9,546
その他	445	583	△ 138
純資産	15,997	6,683	9,314
I 資本金	18,836	5,249	13,587
II 資本剰余金	△ 1,070	△ 1,073	3
III 利益剰余金又は繰越欠損金	△ 1,767	2,507	△ 4,274

1 - (2) 一般勘定（損益の状況）

■当期総損失は4,270百万円となり、前年度と比べ1,814百万円の損失の増加となりました。これは、主に以下の要因によるものです。

- ①東日本大震災に係る災害復旧資金について無利子貸付等の優遇措置を講じたこと、また被災地域の旧債権について返済猶予・条件変更などの措置を講じたことによるもの
（これらの優遇措置を行うため、財務基盤の強化として平成23年度補正予算において政府出資金が措置されている）
- ②独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第46条の2の規定に基づく不要財産の国庫納付として、長寿・子育て・障害者基金に係る利益剰余金を臨時損失として国庫納付したことによるもの

うち借入金利息等 58,436百万円

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	63,950	63,910	40
福祉医療貸付業務費	59,870	61,899	△ 2,029
経営指導業務費	279	293	△ 14
福祉保健医療情報サービス業務費	522	695	△ 173
社会福祉振興助成業務費	2,222	222	2,000
一般管理費	905	800	105
雑損	148	-	148

経常利益又は経常損失	△ 1,945	21	△ 1,966
臨時損失	2,329	2,480	△ 151
当期純損失	△ 4,275	△ 2,458	△ 1,817
前中期目標期間繰越積立金取崩額	5	2	3
当期総損失	△ 4,270	△ 2,456	△ 1,814

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	62,004	63,932	△ 1,928
運営費交付金収益	3,071	2,852	219
福祉医療貸付事業収入	51,902	54,939	△ 3,037
経営指導事業収入	40	48	△ 8
福祉保健医療情報サービス事業収入	18	26	△ 8
補助金等収益	6,564	5,715	849
資産見返運営費交付金戻入	222	227	△ 5
財務収益	23	83	△ 60
雑益	160	39	121

平成22年度は、平成22年11月27日以降の一般勘定における金額を計上（平成22年11月26日以前は旧長寿・子育て・障害者基金勘定において計上）

2 - (1) 共済勘定（資産の状況）

■資産の部18,985百万円のうち、現金及び預金等の流動資産が18,917百万円であり、全体の99.6%を占めています。

■負債の部18,985百万円のうち、預り補助金等3百万円は翌年度に国庫に返還する予定です。

なお、当事業は共済契約者、国及び都道府県の3者による賦課方式により行われておりますが、独立行政法人福祉医療機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成15年厚生労働省令第148号）第15条第1号の規定に基づき、法令に基づく引当金として給付費支払資金を18,762百万円積み立てております。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	18,985	20,627	△ 1,642
I 流動資産	18,917	20,591	△ 1,674
現金及び預金	347	395	△ 48
買現先勘定	17,194	20,196	△ 3,002
未収財源措置予定額	1,375	-	1,375
その他	0	0	0
II 固定資産	67	35	32
有形固定資産	19	17	2
無形固定資産	48	18	30

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	18,985	20,627	△ 1,642
I 流動負債	157	3,709	△ 3,552
運営費交付金債務	45	70	△ 25
預り補助金等	3	3,495	△ 3,492
その他	109	143	△ 34
II 固定負債	65	33	32
III 法令に基づく引当金等			
退職手当給付費支払資金	18,762	16,884	1,878
純資産	-	-	-
I 利益剰余金	-	-	-

2 - (2) 共済勘定（損益の状況）

■経常利益は1,877百万円となりました。これは主に掛金収入などの退職手当共済事業収入43,659百万円、補助金等収益40,246百万円及び財源措置予定額収益1,375百万円が退職手当給付金などの退職手当共済業務費83,403百万円を上回ったことによるものです。

■臨時利益として給付費支払資金戻入益4,268百万円、臨時損失として給付費支払資金繰入6,146百万円を計上しています。

■これらにより、当期総利益はゼロとなっております。

うち退職手当給付金83,403百万円

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	83,947	79,863	4,084
退職手当共済業務費	83,843	79,755	4,088
一般管理費	103	107	△ 4

経常利益	1,877	7,303	△ 5,426
臨時損失 (給付費支払資金繰入)	6,146	10,684	△ 4,538
当期純利益	-	-	-

当年度の既契約掛金の収入金額のうち、当年度の退職手当給付金に充てる額を除いた額を翌年度以降の既契約掛金の収入金額の調整財源等に充てるため、退職手当給付費支払資金に繰入

(単位：百万円)

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	85,824	87,166	△ 1,342
運営費交付金収益	526	558	△ 32
退職手当共済事業収入	43,659	41,764	1,895
補助金等収益	40,246	44,818	△ 4,572
財源措置予定額収益	1,375	-	1,375
資産見返運営費交付金戻入	16	24	△ 8
雑益	0	0	0

臨時利益 (給付費支払資金戻入益)	4,268	3,381	887
----------------------	-------	-------	-----

退職手当給付費支払資金として繰り越した前年度の都道府県補助金等を取崩

3 - (1) 保険勘定（資産の状況）



■資産の部62,947百万円のうち、将来の年金給付の財源となる金銭の信託が62,852百万円であり、全体の99.8%を占めています。

■負債の部76,196百万円のうち、法令に基づく引当金として心身障害者扶養保険責任準備金を76,101百万円計上しております。これは、独立行政法人福祉医療機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成15年厚生労働省令第148号）第15条第2号の規定に基づき、積み立てているものです。

■純資産の部△13,248百万円の前年度末からの減少は、繰越欠損金の増加によるものです。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	62,947	61,232	1,715
I 流動資産	62,940	61,224	1,716
現金及び預金	67	64	3
金銭の信託	62,852	61,159	1,693
その他	21	0	21
II 固定資産	6	7	△ 1
有形固定資産	5	4	1
無形固定資産	1	2	△ 1

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	76,196	72,330	3,866
I 流動負債	88	65	23
運営費交付金債務	60	60	0
その他	28	4	24
II 固定負債	6	7	△ 1
III 法令に基づく引当金等			
心身障害者扶養保険責任準備金	76,101	72,257	3,844
純資産	△ 13,248	△ 11,098	△ 2,150
I 繰越欠損金	△ 13,248	△ 11,098	△ 2,150

3 - (2) 保険勘定 (損益の状況)

■ 経常利益は1,692百万円となりました。これは金銭の信託の運用において1,436百万円の利益を確保したことなどによるものです。

■ 臨時損失として、心身障害者扶養保険責任準備金繰入3,843百万円を計上しています。

■ これらにより、当期総損失は2,150百万円となっております。

うち支払保険料 8,729百万円

うち給付金 12,414百万円

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	21,252	21,202	50
心身障害者扶養保険業務費	21,214	21,167	47
一般管理費	37	34	3

経常利益	1,692	859	833
臨時損失 (心身障害者扶養保険責任 準備金繰入)	3,843	2,322	1,521
当期純損失	△ 2,150	△ 1,463	△ 687
当期総損失	△ 2,150	△ 1,463	△ 687

(単位：百万円)

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	22,945	22,061	884
運営費交付金収益	105	103	2
受取保険料	8,729	9,051	△ 322
保険金	12,670	12,736	△ 66
金銭の信託等運用益	1,436	167	1,269
資産見返運営費交付金戻入	2	2	0
雑益	0	0	0

4 - (1) 年金担保貸付勘定（資産の状況）

■資産の部179,975百万円のうち、貸付金（1年以内回収予定長期貸付金、長期貸付金等）は179,318百万円であり全体の99.6%を占めています。貸付金は前年度末と比べて11,045百万円の減となっています。これは平成23年12月の制度改革において貸付限度額を引下げたこと等によるものです。

■負債の部179,659百万円のうち、借入金（短期借入金、1年以内返済予定長期借入金）は18,097百万円、福祉医療機構債券は160,000百万円であり、貸付原資が全体の99.1%を占めています。

■純資産の部316百万円の前年度末からの増加は、利益剰余金の増加によるものです。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	179,975	191,036	△ 11,061
I 流動資産	120,871	126,363	△ 5,492
現金及び預金	280	255	25
1年以内回収予定長期貸付金	120,225	125,684	△ 5,459
貸倒引当金	△ 6	△ 6	0
その他	372	430	△ 58
	179,318		
II 固定資産	59,104	64,672	△ 5,568
有形固定資産	21	20	1
無形固定資産	84	75	9
長期貸付金等	59,093	64,679	△ 5,586
貸倒引当金	△ 121	△ 132	11
その他	26	29	△ 3

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	179,659	190,758	△ 11,099
I 流動負債	53,283	95,682	△ 42,399
短期借入金	18,097	16,410	△ 15,180
1年以内償還予定福祉医療機構債券	34,000	54,000	△ 20,000
1年以内返済予定長期借入金	1,687	8,608	△ 6,921
賞与引当金	8	10	△ 2
その他	160,000	1,177	△ 296
II 固定負債	126,375	95,076	31,299
福祉医療機構債券	126,000	93,000	33,000
長期借入金	-	1,687	△ 1,687
退職給付引当金	370	381	△ 11
その他	4	7	△ 3
純資産	316	277	39
I 資本剰余金	△ 15	△ 13	△ 2
II 利益剰余金	331	290	41

4 - (2) 年金担保貸付勘定（損益の状況）

- 経常利益は35百万円となりました。これは業務運営コストを適切に貸付金利に反映したことによるものです。
- 臨時利益として退職給付引当金戻入益5百万円、前中期目標期間繰越積立金取崩額として17百万円を計上しています。
- これらにより、当期総利益は58百万円となっております。

うち借入金利息等 2,767百万円

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	3,058	3,795	△ 737
年金担保貸付業務費	2,976	3,711	△ 735
一般管理費	81	84	△ 3
経常利益又は経常損失	35	△ 194	229
当期純利益又は当期純損失	40	△ 194	234
前中期目標期間 繰越積立金取崩額	17	26	△ 9
当期総利益又は当期総損失	58	△ 167	225

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	3,093	3,601	△ 508
年金担保貸付事業収入	3,091	3,597	△ 506
資産見返運営費交付金戻入	1	2	△ 1
財務収益	0	0	0
雑益	0	1	△ 1
臨時利益 (退職給付引当金戻入益)	5	-	5

5 - (1) 労災年金担保貸付勘定（資産の状況）



■資産の部5,945百万円のうち、貸付金（1年以内回収予定長期貸付金、長期貸付金等）は4,415百万円であり、前年度末と比べて390百万円の減となっています。これは平成23年12月の制度改正において貸付限度額を引下げたこと等によるものです。

■純資産の部5,880百万円のうち、資本金（政府出資金）が99.1%を占めており、これが貸付原資となっております。前年度末からの増加は、利益剰余金の増加によるものです。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	5,945	5,949	△ 4
I 流動資産	4,553	4,391	162
現金及び預金	129	143	△ 14
買現先勘定	1,399	199	1,200
有価証券	-	800	△ 800
1年以内回収予定長期貸付金	3,009	3,234	△ 225
貸倒引当金	△ 0	△ 0	0
その他	15	14	1
	4,415		
II 固定資産	1,391	1,557	△ 166
有形固定資産	0	0	0
無形固定資産	1	1	0
長期貸付金等	1,405	1,571	△ 166
貸倒引当金	△ 16	△ 16	0

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	65	71	△ 6
I 流動負債	57	62	△ 5
賞与引当金	0	0	0
その他	57	62	△ 5
II 固定負債	7	8	△ 1
退職給付引当金	7	7	0
その他	0	0	0
純資産	5,880	5,878	2
I 資本金	5,831	5,831	0
II 利益剰余金	49	46	3

5 - (2) 労災年金担保貸付勘定（損益の状況）



- 経常利益は2百万円となりました。これは業務運営コストを適切に貸付金利に反映したことによるものです。
- 臨時利益として退職給付引当金戻入益0百万円、前中期目標期間繰越積立金取崩額として0百万円を計上しています。
- これらにより、当期総利益は2百万円となっております。

うち業務委託費等 29百万円

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	38	41	△ 3
労災年金担保貸付業務費	35	38	△ 3
一般管理費	2	2	0

経常利益又は経常損失	2	△ 0	2
当期純利益	2	1	1
前中期目標期間 繰越積立金取崩額	0	0	0
当期総利益	2	2	0

(単位：百万円)

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	40	41	△ 1
労災年金担保貸付事業収入	39	40	△ 1
資産見返運営費交付金戻入	0	0	0
財務収益	1	0	1
雑益	0	0	0

臨時利益 (退職給付引当金戻入益)	0	-	0
臨時利益 (貸倒引当金戻入益)	-	1	△ 1

6 - (1) 承継債権管理回収勘定（資産の状況）



■資産の部1,791,261百万円のうち、貸付金（1年以内回収予定長期貸付金、長期貸付金等）は1,489,181百万円であり全体の83.1%を占めています。また、有価証券303,900百万円は、翌年度の7月10日までに国庫納付するまでの間、貸付回収金（元金及び利息）等を余資運用しているものです。

■純資産の部1,789,606百万円のうち、資本金（政府出資金）は1,733,006百万円で全体の96.8%を占めており、これが貸付原資となっております。

なお、独立行政法人福祉医療機構法（平成14年法律第166号）附則第5条の2の規定に基づき、平成22年度回収元金相当分314,091百万円と積立金66,827百万円を平成23年7月8日国庫納付しております。これに伴い、資本金及び利益剰余金をそれぞれ同額減少させております。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
資産	1,791,261	2,115,820	△ 324,559
I 流動資産	395,802	482,507	△ 86,705
現金及び預金	1,981	65,705	△ 63,724
有価証券	303,900	318,200	△ 14,300
1年以内回収予定長期貸付金	86,769	94,925	△ 8,156
貸倒引当金	△ 11	△ 11	0
その他	3,163	3,688	△ 525
	1,489,181		
II 固定資産	1,395,458	1,633,313	△ 237,855
有形固定資産	35	34	1
無形固定資産	57	94	△ 37
長期貸付金等	1,402,412	1,640,633	△ 238,221
貸倒引当金	△ 7,046	△ 7,449	403

科目	平成23年度	平成22年度	差額
負債	1,654	1,895	△ 241
I 流動負債	1,011	1,128	△ 117
賞与引当金	14	16	△ 2
その他	997	1,111	△ 114
II 固定負債	642	766	△ 124
退職給付引当金	605	677	△ 72
その他	36	89	△ 53
純資産	1,789,606	2,113,925	△ 324,319
I 資本金	1,733,006	2,047,097	△ 314,091
II 利益剰余金	56,600	66,827	△ 10,227

6 - (2) 承継債権管理回収勘定（損益の状況）

■ 経常利益は56,560百万円となりました。これは貸付金利息収入等59,185百万円を確保したことによるものです。

■ 臨時利益として退職給付引当金戻入益39百万円を計上しています。

■ これらにより、当期総利益は56,600百万円となっております。

なお、独立行政法人福祉医療機構法（平成14年法律第166号）附則第5条の2の規定に基づき、平成23年度回収元金相当分245,753百万円と積立金（当期総利益）56,600百万円を平成24年7月10日に国庫納付しております。

（単位：百万円）

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常費用	3,143	3,247	△ 104
承継債権管理回収業務費	3,013	3,101	△ 88
一般管理費	129	146	△ 17

経常利益	56,560	66,767	△ 10,207
当期純利益	56,600	66,827	△ 10,227
当期総利益	56,600	66,827	△ 10,227

科目	平成23年度	平成22年度	差額
経常収益	59,704	70,015	△ 10,311
承継債権管理回収業務収入	59,185	69,137	△ 9,952
資産見返運営費交付金戻入	49	52	△ 3
財務収益	465	821	△ 356
雑益	3	3	0

臨時利益 (退職給付引当金戻入益)	39	60	△ 21
----------------------	----	----	------